

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永
日 時	平成24年10月5日(月曜日)		開 議 午前 10 時 00 分
			閉 議 午前 11 時 40 分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 井上 西村 明田 石野 (木曾議長欠席)		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者	- 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

2 議事

(1) 議会だより 154(9月定例会号)の掲載事項について

(ア) 文章の確認

(イ) レイアウト表の確認

(ウ) 写真の確認(まだのものは次回までに)

<福井副委員長>

レイアウト表に沿って内容の確認を行う。

[P 1]

<福井副委員長>

トップ写真については、候補とする写真を数点回覧する。この中から選定し、印刷業者とも調整し、掲載することとしたい。目次のトップ見出しについては、「一般会計、2年連続の黒字決算」としているが、これでよいのか、もっとこのように表現すべきといった意見はないか。全体を通じた中で意見を願いたい。

[P 2]

<福井副委員長>

2ページには、議決事項からピックアップした内容、3ページには議決結果及び公社土地処理問題の委員長報告と市長の給料減額の内容である。ご意見は。<了>

<福井副委員長>

一般会計補正予算の関連写真については、B1(豪雨災害)、B2(通学路整備)のどちらの写真がよいか。

<山本委員>

B1がよい。<了>

<福井副委員長>

B1を掲載する。写真C、第6号議案の亀岡中学校の工事写真については、決算特別委員会の視察時の外からの写真である。校舎の中の写真もあるが、4~5ページ

の決算特別委員会のページで使用する。写真Cについてはどうか。〈了〉

<福井副委員長>

写真Dについては、公社特別委員会の委員長報告時の写真である。〈了〉

[P 4 ~ 5]

<福井副委員長>

決算特別委員会の掲載内容である。分科会審査、現地視察、事務事業評価と審査日程の流れに沿った掲載内容としているが、4ページの右下には各特別会計、企業会計の決算額及び財政健全化比率等を掲載している。財政健全化比率等については、財政用語の注釈が必要であるが、このスペースでは困難と考える。

写真Fは一般会計決算認定の採決時の写真であり、これを大見出しの背景に掲載したい。写真G～Iについては、現地視察時の写真である。

<菱田委員長>

このページは決算特別委員会の委員長報告をベースにつくったものである。載せたいことがたくさんあるが、その中で、財政状況の比率はどうなっているのか、各特別会計についてもどのような決算状況であるのかを掲載したいと考えた。しかし、これを掲載することにより、全体が窮屈になったと感じるところであり、今回これらを掲載せず、12月定例会号で掲載する旨の注釈を入れることとしてはどうかと考えるところである。皆さんの意見を伺いたい。

<西村委員>

各会計の決算額は円単位から万円単位にすれば、スペースをとれるのではないかと。そうすれば、財政比率等についても掲載できるのでは。

<福井副委員長>

金額については、万円単位として、スペースを確保できるか調整する。12月定例会号に掲載するよりも、掲載するならば今回号の中で整理すべきと考える。また、経常収支比率は掲載すべきとも考える。窮屈にならないようなレイアウト、構成について工夫したい。正副委員長に一任願う。〈了〉

[P 6 ~ 7]

<福井副委員長>

各委員会で掲載内容を協議されたものである。7ページ、公社関係の大見出しについてはどうか。

<事務局>

原稿のタイトル「亀岡市土地開発公社及び 亀岡市住宅公社の土地処理に関する調査特別委員会の調査結果の概要」を大見出しとするよりも、広報として、よりわかりやすく目を引き付ける見出し付けが必要と考える。特別委員会で調査結果をまとめたということが読み手に伝わるような簡単な文言を入れてみてはどうか。

<福井副委員長>

確かにこの文言のままでは固いと感じる。

<苗村委員>

常任委員会では見出しも含めて確認している。公社の関係についても見出しは特別委員会で確認された内容であるべき。ここで決めるというものではない。

<福井副委員長>

広報として、「～調査結果の概要」の前にさらに見出し付けをしてみてはどうかという提案であるが、これは必要ないというものか。

<苗村委員>

見出しをつけるのであれば、公社特別委員会で確認しておかないと、特別委員会の

思いと異なる内容が掲載されることとなっはいけないということである。

< 福井副委員長 >

公社特別委員会の委員長であった西村委員の意見は。

< 西村委員 >

あえて大見出しをつけなくとも、原稿のタイトルを大きくすれば、それで見出しとなるのではないか。

< 福井副委員長 >

石野委員の考えは。

< 石野委員 >

トップページの目次に「公社特別委員会の調査結果」と入れているので、わざわざ大見出しを入れる必要はない。

< 福井副委員長 >

他に異議がなければ、原稿のタイトルをそのまま見出しとすることでよいか。

< 了 >

< 福井副委員長 >

写真K～L 2はそれぞれ調査報告書を手渡す場面のものであるがどうか。

< 山本委員 >

どれも同じような写真である。3点とも掲載するのはいかがなものか。

< 福井副委員長 >

これらの写真を1点のみ掲載する場合、写真K、委員長から議長への写真か、写真L、議長から市長への写真とするか、どちらがよいか。

< 西村委員 >

写真Kは余部町清水の当該地の位置図などに差し替えるべきと考える。そして、写真Lのところに写真Kを入れてみてはどうか。

< 福井副委員長 >

位置図についてはどう取り扱うか。以前の議会だよりに当該地の写真を掲載したことがある。

< 石野委員 >

当該地の現況を撮ってみてはどうか。

< 福井副委員長 >

現在はバリケードにより撮影できないような状況である。以前に掲載した現場写真を掲載することでどうか。< 了 > 写真Lについては、調査報告書を議長から市長に手渡している場面又は副市長に手渡している場面の写真とし、正副委員長に一任願いたい。

[P 8 ~ 1 4]

< 福井副委員長 >

写真Mについては、前回のものであるが、6月定例会は井上議員が欠席していたため、写真のレイアウトを理事者席のみに調整したものである。緑風会と共産党議員団の代表質問関連写真は未定である。各質問原稿のタイトル見出しの枠線はレイアウトでは表示しない。議員写真については、ランダムに配置するので、レイアウトの位置関係、角度等を考慮し選定したので了解願う。また、質問のタイトルは「問」とし、答弁のタイトルは「市長」や「部長」などとしている。

< 石野委員 >

写真は顔だけとするのか。

< 福井副委員長 >

背景も入る。ゲラ版で確認願いたい。

<西村委員>

背景の議員の様子には留意すべきでは。

<事務局>

印刷業者との調整の中で、背景をぼかすなどの手法を検討している。次回の委員会はゲラ版での最終確認となるが、その事前調整で検討する機会を設けたい。

<福井副委員長>

ゲラ版の事前調整において作業部会で確認することとする。 <了>

[P 1 4]

<福井副委員長>

議会報告会について、写真S、T、Uは、3会場の各写真を掲載しようとするものである。

<苗村委員>

写真は1会場のみでよい。文章を多くすべきでは。

<西村委員>

「3会場で過去最高、82人の参加」と表現していることの意図であるので、3会場それぞれの会場風景を掲載すべきと考える。

<福井副委員長>

同じような写真であるのでいかがかと思うが、そのような意図である。

<山本委員>

たくさんの方が参加されていると感じてもらえたらよいが。また、写真と各会場での意見交換の内容が関連するように工夫できないか。

<福井副委員長>

3会場掲載することとし、意見交換の内容とも統一性をもたせたらどうかという意見である。

<石野委員>

参加者が挙手している場面の写真などがあればよいが。

<福井副委員長>

各会場の写真を整理して3会場とも掲載することとする。 <了>

[P 1 5]

<福井副委員長>

議員研修の関連写真は、全員協議会室の写真よりも、テーマに沿った写真を掲載してみてもどうかと考え、写真Vを候補とした。 <了> 視察受入状況については、実際に視察時の風景として写真W、議会日誌の下の写真Xについては、現在、本会議場でくじ取り式が行われており、その写真を掲載することとしたい。 <了>

[P 1 6]

<福井副委員長>

前回同様のレイアウトであるが、今回、議会報告会参加者に各会場でインタビューをとり、その内容を掲載することとなった。文字数のボリューム、年齢層、性別に配慮すべきであったが、初めての取り組みであるので、この内容で掲載しようとするものである。 <了>

<福井副委員長>

全体を通じてご意見は。

<事務局長>

2ページ、取り下げられた6号議案の掲載について、取り下げているという現状を

踏まえ適切かどうか確認願いたい。

<福井副委員長>

議決をしたものではないので、その趣旨を理解している。各委員の考えは。

<菱田委員長>

取り下げなくてもよかったのではという見方をされてしまい、正しく理解してもらえないおそれがある。なぜ取り下げたのかをもっとクローズアップしなければならないこととなり、掲載するならばもっと写真を縮小して内容を盛り込むべき。もしくは掲載しないほうがよいと考える。

<西村委員>

この記事は好ましくない。あえて掲載する必要はないとも考える。記事を差し替える場合は、財産の取得に係るバケットコンパクトの写真がよいのでは。

<石野委員>

3ページの議決結果の中で議案の撤回として報告している。

<山本委員>

取り下げられた議案であるので、今回は掲載しなくてもよい。再提案され議決した時に掲載することでよいのでは。

<苗村委員>

どこに焦点をあてるか、撤回されたことに注目するのであれば、このようにクローズアップすべきと考えるが、臨時会で再提案されるのであれば、その時でもよいのではと考える。

<福井副委員長>

議会改革を進める議会が厳しく指摘して取り下げられた案件であるので、掲載することに理解はしている。そのことを表にだすかださないかの判断である。各委員の意見では、次回、議決された後に経過を含めて掲載してはという意見があったので、今回、この記事は削除することでどうか。<了>

<福井副委員長>

この部分にはバケットコンパクトの写真を掲載する方向で調整する。<了>

<福井副委員長>

10月16日15時30分から、議会だよりの作業部会を開き、ゲラ版の事前調整を行いたい。<了>

<石野委員>

トップ写真の候補について、委員会ではこれ以上検討しないのか。

<福井副委員長>

トップ写真については、篠少年野球クラブとボーイスカウト亀岡第1団50周年記念の写真をピックアップする。その2点のバックとしてコスモス園の写真を全面使用しようとするものである。コスモスの写真はバックであるので、こだわっていない。印刷業者とデザインの協議の中で選定したいと考えているが、本委員会でもよいと思うものがあればご意見を伺いたい。

<苗村委員>

コスモスの写真については、「4」がよいと思う。

<西村委員>

印刷業者のデザインに任せ、次回確認したい。

<福井副委員長>

以上の意見を踏まえ、印刷業者と調整する。<了>

(2) 議会報告会について

(ア) 議会報告会(1 1月 2 2日(木))の開催要項について

< 菱田委員長 >

市民ホールについては、一巡もしてきたので、自治会だけでなく各種団体等にも案内をしてはどうかと副委員長から以前提案があった。このことについて方向性を出したい。案内するなら、どういう団体を対象にし、どのように依頼するか。

< 西村委員 >

まだ一巡していないのでは。

< 事務局 >

1 2月定例会分の3会場が残っている。2 4番目の分が先に来ているだけである。

< 西村委員 >

一巡してから、そのようなことに取り組む方が良いのでは。

< 福井副委員長 >

一巡したと考えていたが、違うのか。

< 事務局 >

1 2月定例会の報告分で一巡である。河原林と西別院と本梅が残っている。残りの2 4番目の分が、1 2月定例会ではなく9月定例会の報告分と、かなり前の委員会で決定している。

< 菱田委員長 >

では、残り3ヶ所あることを前提に話を。

< 福井副委員長 >

一巡していないなら提案は取り下げる。ただ、なぜ今回に2 4番目が来ているのか。

< 事務局 >

最初に議会報告会を行うことが決まった際、2 4会場分が割り振られている。

< 菱田委員長 >

1 4期の終わりに議会報告会をスタートするにあたり、順序を決めた。いずれにせよ市民ホールで行うことは決定している。亀岡地区だけを対象にするのか、市内全域を対象にするのか、各種団体に働きかけるのか、それらをミックスするのが良いのか、意見を。

< 明田委員 >

終わっていない町もあるので、大々的に他町にまで案内するのは控え、亀岡地区だけを中心にしては。

< 福井副委員長 >

亀岡地区だけ2回目になるので各種団体に案内してはと思ったが、それも一巡したと考えたからである。

< 事務局次長 >

最初に2 3自治会を割り当てた際、残りの1ヶ所については、人口も多いということもあり亀岡地区となった。亀岡の中での地域の散らばり具合を考慮して2 4会場分を割り振った結果、残り1ヶ所の亀岡地区については、最後の1 2月ではなく9月の報告分となった。

< 山本委員 >

ちなみに、一巡した後はどうするのか。

< 菱田委員長 >

全議員に行ったアンケートに基づき、後日決定する。

< 山本委員 >

では、今回の計画としては亀岡地区が最後になるので、やっても良いのでは。団体といっても、どの団体に声をかけるか、選ぶのが難しいのではないかな。

< 福井副委員長 >

「亀岡地区」と考えるから、なぜ2回目なのかということになる。「亀岡地区」ではなく、全地区を対象とする方が良いのでは。そう考えると、亀岡地区で行うが、自治会でやるのではないという発想で行う方が良いのでは。

< 山本委員 >

亀岡全体を対象にすれば平等である。今後2年かけて新しい方法でまわるのであれば、今回は自治会中心が良いのでは。

< 石野委員 >

亀岡地区は全地区を対象とすれば良いのでは。

< 苗村委員 >

全体に呼びかけるなら、最後にやるべきでは。

< 明田委員 >

全体に呼びかけるのは、3地区が残っている以上、避けるべきでは。

< 菱田委員長 >

基本条例の説明会を市民ホールで行った時、各種団体に案内をした。全自治会に呼びかけるのは、今回の2自治会と次回の3自治会の5自治会に重複して案内をすることになるので、避けるべきでは。亀岡地区だけに呼びかけるのもどうか。基本条例では出前委員会ができることになっている。それを前提に、今回はこちらから各種団体に呼びかけて来ていただき、今後各種団体が抱えている課題について、各常任委員会が出向いて意見交換していくきっかけとするのも1つの方法である。各種団体というのは良い方法では。

< 苗村委員 >

新しい試みとしてやるのも良いが、団体といっても多くあり、対象をどこまでにするかが難しい。大きな団体の代表者は色々なところに出席している。中小の様々な団体があるが、分かるところにはできるだけ呼びかけていくような方法も考える必要がある。

< 西村委員 >

まだ広報はしていないのか。広報しているなら変更はきかない。広報していないなら、声のかかる団体とかからない団体があってもいけないので、広報する際に市民ホールは「団体向き」等という表示にはしては。

< 事務局長 >

議会報告会は、誰がどこに行っても良いのが基本である。たまたま開催地が自治会をまわるということであって、あえて地区にこだわる必要はない。対象を各種団体とするのは取り入れても良い。教育・老人・介護等、今の様々な課題について、団体と意見を交換するのも大事。声のかかる団体とかからない団体があっても仕方がない。大きな広報は行いつつ、それ以外には主な団体に声をかけるしか仕方がないのでは。

< 菱田委員長 >

3会場を散りばめようとしたのは、自分の所の自治会でなくても、近隣の自治会へ行けるように配慮した結果である。市民ホールは、全体で来てもらえるような、し

かし今までとは違う目先で来てもらえるような工夫をすれば、次へのステップに繋がるのではないか。この件については副委員長と整理し、次回の18日に提案したいが、それで間に合うか。

<事務局次長>

一巡するまでは同じスタイルでやろうということやってきている。今回はたまたま24番目なので、一番人口の多い亀岡地区で、駐車場も確保でき、人が来やすい市民ホールとなっている。やはり一巡するまでは同じスタイルが良いのでは。全議員を対象にしたアンケートにも、報告にプラスして何かテーマを決めて市民と意見交換をしようという案が出ており、2巡目において意見交換をしたいテーマを検討されると思うが、テーマが決まれば案内する団体も決まってくる。そのような中で変化させていくのが良いのではないか。

<事務局>

おしらせ版に掲載するが、締切は来週12日である。

<菱田委員長>

おしらせ版には予定通り掲載し、会場変更はせず、18日の委員会までに各自方向性を検討することでどうか。

<苗村委員>

亀岡地区を無しにしてはどうか。一巡を区切りとする意見が多く、色々なことをやるにしても、アンケートの意見を踏まえて新たにきちんと議論をしてから提起をする方がすっきりする。すでに広報している分は、諸般の都合により中止になった旨を再度広報すれば良い。全部が終わってから次の段階へとする方が良いのでは。

<菱田委員長>

前期の終わりに一定のルールを決め、会場を選定してやってきている。思い違いがあったにせよ、24番目の会場として市民ホールを選んだのは本委員会としても議会としても確定事項なので、やるという方向で進めたい。後はやり方の問題である。その点を次回に議論させていただく。

- 開催要項説明、会場分担確認、会場責任者決定 -

会場責任者：亀岡地区は菱田委員長、吉川は西村委員、東本梅は苗村委員。

<菱田委員長>

報告は各常任委員会と決算特別委員会・公社特別委員会の報告を各4分とし、開会挨拶を5分から3分に変更した。実際は決算に時間が必要なので、各会場で調整を。10月下旬にはチラシが完成するので、会場責任者は自治会への持参と打ち合わせを。ただ、亀岡地区についてはチラシの扱いを含めて継続審議とする。

3 その他

なし

～ 11 : 40